

弟子屈町における地域公共交通活性化・再生総合事業(計画事業最終年度)

方針:環境にやさしく、生活交通と観光交通が一体となった地域交通体系の構築

弟子屈町地域公共交通総合連携計画の目標

【環境】

環境にやさしい交通体系の確立

【生活】

生活交通の充実による利便性の向上

【観光】

滞在型観光を支える2次交通の充実・強化



弟子屈町地域公共交通活性化協議会開催状況

- | | |
|--------|---------------|
| 4月25日 | 第1回協議会を開催 |
| 12月19日 | 第2回協議会を開催 |
| 3月中旬 | 第3回協議会を開催(予定) |

平成23年度事業の実施状況

平成23年度事業計画の概要

- (1) 摩周・屈斜路環境にやさしい観光交通実証運行
- (2) 鉄道・バス共有「弟子屈2daysエコパスポート」の発行
- (3) 駅ボランティアインフォメーションセンターの設置・運営
- (4) サイクル&ライドの実施
- (5) 公共交通利用促進・啓発活動
- (6) 観光交通シンポジウムの開催



(1) 摩周・屈斜路環境にやさしい観光交通実証運行

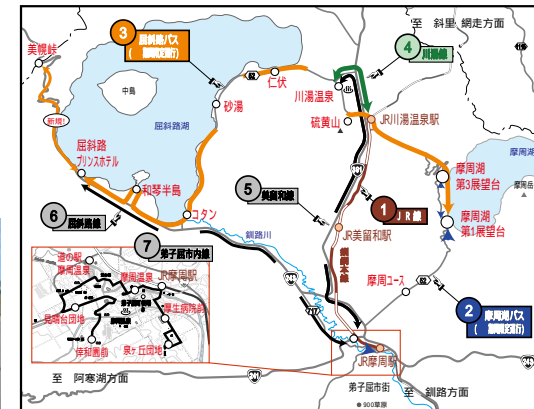
運行期間 平成23年7月16日～10月10日(87日間)

運行ルート 摩周湖バス: JR摩周駅～摩周湖第一展望台
 屈斜路バス: 美幌峠～JR川湯温泉駅～摩周湖第一展望台

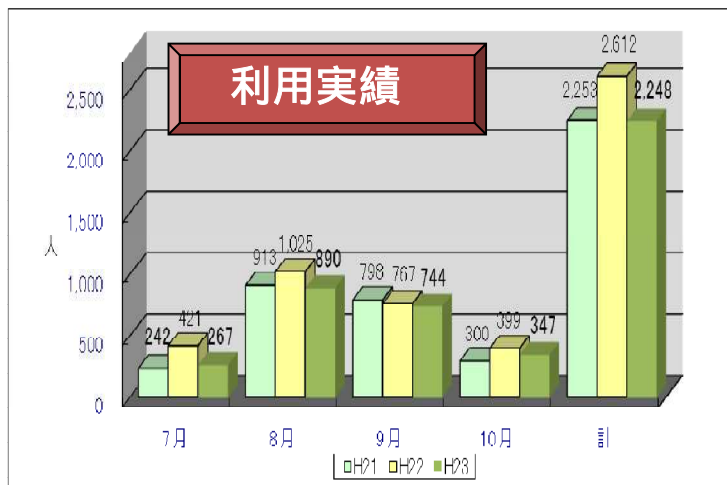
運行本数 摩周湖バス・屈斜路バス: 各々4本

運賃 大人1,500円 子ども500円(2日間乗り放題)

運行事業者 JR北海道・阿寒バス・摩周ハイヤー



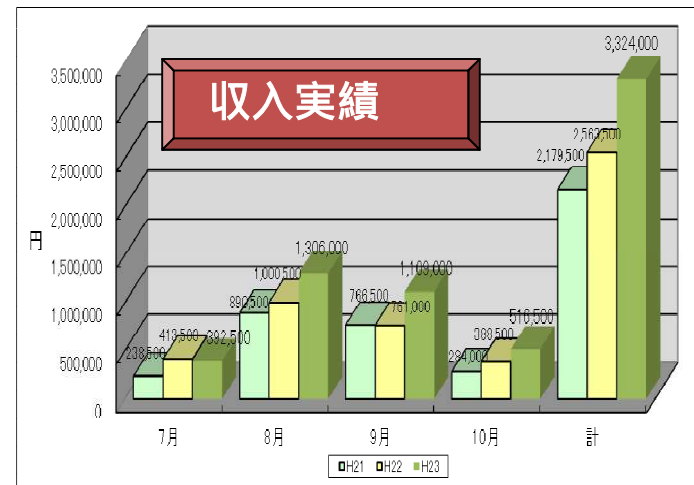
「弟子屈2daysエコパスポート」実績



平成23年度利用者数

おとな	子ども	合計
2,200人	48人	2,248人

東日本大震災の影響により、利用者的大幅な落ち込みが懸念されたが、結果的には、初年度とほぼ同数となった



平成23年度運行収入

おとな	子ども	合計
3,300,000円	24,000円	3,324,000円

おとなの乗車料金を1,000円から1,500円に値上げしたことにより収支率の改善が図られた

(2) 鉄道・バス共有「弟子屈2daysエコパスポート」の発行



エコパスポート・チケット



エコパスポート・ガイドマップ

「弟子屈2daysエコパスポート」PR用チラシ

(3) 駅ボランティアインフォメーションセンターの設置・運営



JR川湯温泉駅ボランティア
インフォメーションセンター



JR摩周駅ボランティア
インフォメーションセンター



ボランティアガイドの活動風景 / 摩周湖第一展望台発着所 (ジャンボタクシーとの乗り継ぎ案内)

(4) サイクル&ライドの実施



レンタサイクルの貸出し風景
/JR摩周駅



標高名	内容	片道距離 (片道時間)
① 川湯温泉	川湯温泉の中心部を巡るコース。温泉街の散策に最適です。	約 25分 (10分)
② 川湯温泉と川湯温泉センター	川湯温泉の中心部と川湯温泉センターを結ぶコース。散策に最適です。	約 40分 (20分)
③ 川の散歩	川湯温泉の中心部を巡るコース。散策に最適です。	約 40分以上 (15分以上)

※無料貸出エリアは、無料エリアに自転車を乗せて移動することができます。ただし、バスに乗せられる台数には限りがあります。ご利用にはご注意ください。あらかじめご了承ください。

サイクルマップ

(5) 公共交通利用促進・啓発活動



ペロタクシーによる啓
発活動 / 札幌市内



町内ノーマイカーデー
/ピアガーデン

(6) 観光交通セミナーの開催

平成23年12月19日開催

基調講演 釧路公立大学 学長 小磯修二氏

3年間の実証運行のデータを基に町民・関係者へのセミナーを開催

テーマ 「自然環境資源の価値を活かした観光地形成へ 弟子屈町の挑戦と今後の発展に向けて」
パネルディスカッション

テーマ 「環境にやさしい観光地形成に向けて公共交通のあり方を考える」

コーディネーター 釧路公立大学 学長 小磯修二氏

パネラー 徳永弟子屈町長ほか4名

事業実施成果

3年間のアンケート調査結果から

利用者の総合評価として「満足・やや満足」の合計が93%以上と非常に高い評価を得た

今年度の販売状況から

東日本大震災の影響により、利用者の大幅な落ち込みが懸念されたが、結果的には初年度販売枚数とほぼ同じ利用数となった。また、大人の販売数だけをみると初年度を上回る販売実績となった

今後の課題

運行費用の確保、収支の改善

- ・エコパス単体での黒字は極めて難しい
- ・町全体への経済波及効果を考えた施策の展開
- ・町の補助を前提としつつも、費用の削減に向けた工夫と努力

自己評価のポイント

- ・「摩周・屈斜路環境にやさしい観光交通実証運行」を始めとする6つの事業を試行した。
- ・各課題の検証、事業の見直しの要否、持続可能な財源・料金設定、利用者アンケート等、本格実施可能な環境の整備に向けて必要な検討を行っている。

二次評価のポイント

- ・自己評価のとおり自立的運行に向けて必要な検討を行っていると認められる。
- ・本格運行に向けては、収支率の改善等大きな課題があるものの、今後更なる利用者の増加やそれによる地域の経済波及効果も期待されており、地域関係者の実質的な合意が形成されている。